

日本金属学会 触媒材料研究会（案）

ミニシンポジウム：「ナノ組織制御触媒の新展開その2」

趣旨

「触媒材料」はこれまでも化学合成プロセスなどで威力を発揮してきたが、排ガス浄化やエネルギー変換など、環境・エネルギーの分野においても大きな役割を果たすようになり、材料分野における存在感も日増しに大きくなっている。“ナノ粒子/担持系” 貴金属においては様々な触媒機能が知られており、従来は触媒化学の観点から検討されてきた。しかし最近、担体を有しないポーラス体においても高い触媒活性が出現することや、ナノレベルで合金の組織制御を行うことで触媒の特性を向上できることが明らかになり、触媒作用の起源を再考する必要が生じてきた。本ミニシンポジウムは、この分野の第一線で活躍する国内の若手研究者を集め、異なるアプローチによる研究事例について金属組織制御の視点から議論を行うことで合金触媒の機能の起源に迫る。

日時：2015年2月26日（木） 13:15～16:40

場所：研究交流センター（つくば市竹園 2-20-5）2階、第1会議室

http://www.mext.go.jp/a_menu/kokusai/kouryucen/005.htm

講演会参加費：無料

<プログラム>（敬称略）

- | | | | |
|-------------|---|-----------|------|
| 13:15～13:20 | 世話人挨拶 | 物質・材料研究機構 | 西村 睦 |
| 13:20～14:05 | 「Intermetallic Compounds as Generative Catalysts」 | 物質・材料研究機構 | 阿部英樹 |
| 14:05～14:50 | 「金属溶湯中脱合金化法によるナノ・マイクロポーラス金属の作製と触媒応用の検討」 | 東北大・金研 | 和田 武 |
| 14:50～15:10 | コーヒー ブレーク | | |
| 15:10～15:55 | 「アモルファス合金を利用する触媒開発」 | 阪大・工（院） | 野崎安衣 |
| 15:55～16:40 | 「Ce含有アモルファス合金触媒の調製とそのCO酸化反応特性」 | 東北大・工（院） | 宮本勘史 |

参加申込みお問合せはE-mailで

物質・材料研究機構 西村睦または廣瀬まで

Tel: 029-859-2652

E-mail: NISHIMURA.Chikashi@nims.go.jp

HIROSE.Kayoko@nims.go.jp